

平成 2 7 年第 6 回
上小阿仁村議会定例会
会 議 録

平成 2 7 年 1 2 月 1 5 日 (開会)

平成 2 7 年 1 2 月 1 7 日 (閉会)

平成 27 年第 6 回上小阿仁村議会定例会会議録（第 1 号）

○招集（開会） 年月日 平成 27 年 12 月 15 日

○招 集 場 所 上小阿仁村議会議場

○会議年月日（時間） 平成 27 年 12 月 15 日（10 時 00 分）

○出 席 議 員

1 番	伊 藤 秀 明 君	2 番	伊 藤 敏 夫 君
3 番	北 林 義 高 君	4 番	佐 藤 真 二 君
5 番	齊 藤 鉄 子 君	6 番	大 城 戸 ツヤ子 君
7 番	武 石 辰 久 君	8 番	小 林 信 君

○欠 席 議 員 な し

○地方自治法第 121 条の規定により説明のため、会議に出席した者の職氏名

村 長	小 林 悦 次
副 村 長	鈴 木 壽美子
総 務 課 長	小 林 博 隆
住 民 福 祉 課 長	伊 藤 清 治
産 業 課 長 兼 建 設 課 長	武 石 晋
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 施 設 長	小 林 雄 幸
主 幹 兼 診 療 所 事 務 長	河 村 良 満
代 表 監 査 委 員	鈴 木 孝 明
教 育 長	高 橋 充
主 幹 兼 教 育 委 員 会 事 務 局 長	小 林 隆

○本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	田 村 秀 幸
議会書記	小 林 京 子

○村長提出議案の題目 別紙のとおり

○村長提出議案の題目 別紙のとおり

○議員提出議案の題目 な し

○議 事 日 程

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 会 期 の 決 定

第 3 行 政 報 告

第 4 一 般 質 問

第 5 議案第 1 号 平成 27 年度上小阿仁村一般会計補正予算について

第 6 議案第 2 号 平成 27 年度上小阿仁村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算について

第 7 議案第 3 号 平成 27 年度上小阿仁村国民健康保険診療施設勘定特別会計補正予算について

第 8 議案第 4 号 平成 27 年度上小阿仁村特別養護施設特別会計補正予算について

第 9 議案第 5 号 平成 27 年度上小阿仁村介護保険事業勘定特別会計補正予算について

第 10 議案第 6 号 平成 27 年度上小阿仁村後期高齢者医療特別会計補正予算について

第 11 議案第 7 号 上阿仁村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について

第 12 議案第 8 号 上小阿仁村村税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について

第 13 議案第 9 号 上小阿仁村営住宅設置条例の一部を改正する条例について

第 14 議案第 10 号 上小阿仁村営住宅管理条例の一部を改正する条例について

第 15 陳 情

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

○会議録署名議員の氏名

会議録署名議員の指名。

2 番 伊 藤 敏 夫 君

3 番 北 林 義 高 君

10時00分 開会

○議長（小林信） おはようございます。

ただいまの出席議員は、8名であります。

定足数に達しておりますので、これより平成27年第6回上小阿仁村議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりであります。

諸般の報告

○議長（小林信） 日程に入る前に諸般の報告を行います。

この件につきましては、議員各位のお手元に文書を配布しておりますので、これにて諸般の報告といたします。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（小林信） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により議長において、2番 伊藤敏夫君、3番 北林義高君を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（小林信） 日程第2 会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から12月17日までの3日間としたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小林信） 異議なしと認めます。よって、会期は3日間と決定いたしました。

説明員の通告

○議長（小林信） 説明員の通告がありますので、報告いたします。

副村長、鈴木壽美子君。総務課長、小林博隆君。住民福祉課長、伊藤清治君。産業課長兼建設課長、武石晋君。特別養護老人ホーム施設長、小林雄幸君。主幹兼診療所事務長、河村良満君。代表監査委員、鈴木孝明君。教育長、高橋充君。主幹兼教育委員会事務局長、小林隆君。

日程第3 行政報告

○議長（小林信） 日程第3 村長より、行政報告についての発言を求められ

ておりますので、これを許します。村長。

(小林悦次村長 登壇)

○村長(小林悦次) 平成27年第6回上小阿仁村村議会定例会にあたりまして行政報告をさせていただきます。

最初に、総務課関係であります。

1. 平成27年度補正予算について

平成27年度一般会計補正予算は、高齢者世帯等除雪費助成金など総額1,160万6,000円の追加補正で、補正後の総額は25億1,196万8,000円となります。

主なものとしたしましてバス路線維持費169万円。高齢者世帯等除雪費助成金315万9,000円。保険基盤安定繰出金346万4,000円。障害者福祉サービス費返還金255万3,000円。常備消防委託料マイナス579万6,000円。奨学金貸付金マイナス264万円。小中学校防犯カメラ設置工事92万9,000円。教育振興費教材備品108万9,000円。財政調整基金積立金319万3,000円、であります。

なお、特別会計につきましては、次の表のとおりでありますので、後ほどご覧いただきたいというふうに思います。

2. 平成27年度上小阿仁村功労者表彰について

上小阿仁表彰規則に基づき、去る11月20日、24日に表彰審査会を開催し、今年度一般表彰の被表彰者について諮問したところ、下記の方の答申をいただきました。

12月22日に開催する平成27年度上小阿仁村表彰式典において表彰する予定であります。

地方自治功労者 小林金四郎氏。教育自治功労者 高地文夫氏。業務奨励功労者 武石清治氏であります。

3. 人事関係について

11月1日付けで10名の人事異動を行いました。

平成27年度末で定年退職する職員は4人、うち一般行政職2人、看護師1人、調理員1人であります。

新年度に社会福祉士と、一般行政職若干名の新規採用を予定しております。

4. KAMIKOANI プロジェクト秋田について

8月1日に開幕したKAMIKOANI プロジェクト秋田2015は、9月13日の八木沢公民館でのクロージングイベントで44日間の開催を終了しました。この間、八木沢、沖田面、小沢田会場には1万1千人もの来場者がありました。

音楽や舞踏などイベントも多彩に行ったほか、台湾からのレジデンス作家を迎えて、総勢32組の作家で70点以上の作品を展示しました。

今年も八木沢カフェをオープンし、地元の野菜を使用した夏野菜カレーを婦人会、食生活改善推進協議会、商工会の皆さんが提供してくれました。

ホオズキの生ジュースも好評を博し、それを目当てに八木沢を訪れる方も多数おられました。

世帯に配布をしたイベントの旗につきましては、皆様のご協力により来場者を歓迎する旗になりました。

クロージングイベントでは、大林獅子踊り、八木沢番楽が八木沢公民館で披露され、イベントのフィナーレを地域住民の協力のもと飾ることができましたことを皆様に感謝申し上げます。

5. 台湾萬巒郷訪問団について

姉妹都市提携を結んでいる萬巒郷から 39 名の訪問団が訪れ、交流を深めました。10 月 19 日、秋田県知事を表敬訪問したあと、上小阿仁小中学校を訪れ、児童生徒から歓迎を受けました。その後、生涯学習センター裏のふるさと公園で記念植樹を行い、午後 5 時 30 分から生涯学習センターで歓迎会が行われました。大林獅子踊りや日本舞踊の披露に引き続きカラオケが行われ大いに盛り上がりました。

私達はみんなひとつの家族という意味をもつ台湾の曲に合わせて、会場全員が手をつないで踊り、絆を深め再会を誓いました。

6. 未来づくり協働プログラムについて

このプログラムは、秋田県と村が共通の課題を解決するために、村が提案する課題解決策を元に、県と村が協働で、地域に適した地域活性化策を計画し実行する政策であります。

8 月 31 日に県と村の共同による事務局案を庁内課長及び班長に対して説明し、さらなる検討を要請しました。また、9 月 29 日には村のプロジェクトチームが県庁地域活力創造課に出かけて、県のプロジェクトチームと合同でチーム会議を開き、課題解決に向けての検討を行っております。

そのほかに、高齢者の見守り、支え合いに関することと、交流人口の拡大に関することの 2 つのワーキンググループがそれぞれ 2 回検討会を行っております。

11 月 24 日には、北海道下川町の NPO 法人下川森林未来研究所の春日隆司氏をプロジェクトアドバイザーとしてお招きし、生涯学習センターにおいて、県と合同のチーム会議を開催いたしました。春日アドバイザーには午後 3 時半から、「環境未来都市北海道下川町森林総合産業の取り組み、ゼロエミッションについて」と題して森林資源を活かした地方創生の先進事例の講演も実施していただきました。中でも集住型の住環境整備を実施した「一の橋地区」でのバイオビレッジ構想による取り組みはとても興味深く参考となるものでした。

いずれにしても、目標のプログラム作成期限まで残り多くはありませんので、11 月 30 日の議員全員協議会にてご報告いたしましたとおり、集住型宿泊交流

拠点施設の基本設計を指名型プロポーザル方式で業者に通知させていただきました。

プログラム策定に関しましては、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

7. 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定について

この戦略は、深刻な人口減少問題を背景に創設され、地域課題を解決しながら自らの施策で人口を維持し、今後5カ年の地域の創生を計ることを目的に創設された国の政策で、6月から準備を進めておりました。

8月31日に第1回総合戦略推進本部会議を開催して、各課、施設長、班長に趣旨説明を行いました。

また、地方創生に関するアンケートを10月5日に発送しておりまして、たがいま集計中であります。

11月13日には、第1回総合戦略会議を開催し、有識者会議の委員及び各部会の委員の皆様にご趣旨及び今後のスケジュールを説明しております。なお、部会委員の方々には早速、部会毎の会議をしていただいたところであります。

11月30日には、議員全員協議会にて概要等について説明させていただき、貴重な提言とアドバイスをいただいております。

今後も3月の策定を目指して進めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

8. 秋の叙勲について

11月4日、県正庁におきまして秋の叙勲伝達式が行われ、下五反沢の小林金四郎さんが、消防功労で瑞宝単光章を、また羽立の武石正則さんが海上保安功労で瑞宝双光章をそれぞれ受章されました。

受章されました2人には、これまでのご尽力に敬意を表し、心からお祝いを申し上げます。住民福祉課関係であります。

1. 消防・防災関係について

11月1日から始まった秋の火災予防運動の初日、羽立地区において防災訓練を実施いたしました。

今回の訓練には、羽立地区住民、消防団など約130人の参加により、震度6強の地震の発生によるライフラインの寸断、道路の崩壊や倒壊、建物の火災などを想定して、避難誘導、避難所の開設、消防団による火災防ぎょ、地区住民による炊き出しや消火器による初期消火訓練など、総合的な訓練と防災アドバイザーによる防災講話を実施し、防災体制の強化と地域住民の防災意識の高揚を図っております。

また、各分団では、火災予防のチラシの配布や消防車による巡回広報を実施しております。

1月4日には、消防出初式の実施を予定しております。

2. 戦没者追悼式について

上小阿仁村戦没者追悼式を10月23日開催いたしました。戦後70年を経て恒久平和の誓いのもと、関係者並びに遺族会員約60人が参列し、上小阿仁村関係戦没者205人余りの英霊の遺徳を偲び、黙祷と献花を行いました。戦争に尊い命を捧げた戦没者のご冥福をお祈りいたします。

3. 臨時福祉給付金等の支給について

消費税増税に伴う負担軽減のための一時金、臨時福祉給付金については、11月20日現在、616人に対し369万6,000円が支給されています。また、子育て世帯臨時特例給付金については147人に対し44万1,000円が支給されています。

4. 高齢者世帯等除排雪事業について

平成23年度から実施しているこの事業は、高齢者等の冬期間における生活の安全と費用負担の軽減が図られることから、今年度も実施することとし、それに伴う補正予算を計上しております。

少しでも利用率が向上するよう、広報等で周知を図っていきたくと考えております。

5. 長寿祝金について

11月10日に下五反沢の小林フミさん、11月25日に小沢田の田中ツヨさんが100歳を迎えられ、村から、長寿祝金条例に基づき、お祝金を贈呈させていただいております。

お二人ともお元気で、家族と自宅で生活しており、これからもますます健康に気をつけられ、楽しい人生を送っていただきたいと思っております。

6. インフルエンザ予防接種の助成について

インフルエンザワクチンが、より多くの種類のウイルスに対応するよう変更され、価格が昨年より1.3倍程度値上がりしたことに伴い、診療所での接種料金も昨年の2,000円から2,500円に値上がりしております。

現在、村では1回の予防接種につき、乳幼児から中学生までは1,500円、高齢者には1,000円を助成しておりますが、値上げによる接種率の低下防止と接種者の負担軽減を図り、インフルエンザの流行を予防するため、助成額を500円増額することとし、それに伴う補正予算を計上しております。

7. 健康づくり事業について

村民の心身の健康づくりと自殺予防を目的として実施している健康づくり講演会を、9月10日に「今を生きる若者への支援」、10月8日に「生きる力」、11月16日に「今求められている高齢者の支え」をテーマに講演会を開催いたしました。

また、12月19日には、心の健康づくりイベントとして、健康チェックやこゑにカフェの開催、映画「うまれる ずっと、いっしょ。」の上映を予定してお

ります。これらの事業が、少しでも村民の心身の健康づくりに役立つことを期待しております。

8. 環境衛生について

10月18日に秋の全村一斉クリーンアップを実施したところ、740kgのゴミが回収されました。村民の皆さんのご協力により、村内の清掃と環境美化が図られております。

9. 北秋田市上小阿仁村病院組合について

病院組合関係の裁判事件として1件残ってございました地位確認等請求事件については、平成26年10月31日に秋田地方裁判所から判決が言い渡され、勝訴いたしました。原告が、この判決を不服とし、同年11月11日に仙台高等裁判所秋田支部に控訴いたしました。

この事件について、10月28日に控訴審判決が言い渡され、請求を退けた秋田地方裁判所の判決の一部を変更し、北秋田市に損害賠償として250万円の支払いを命じております。

なお、北秋田市は、この判決を不服として、11月10日に最高裁判所へ上告しております。

今後、この裁判の弁護士費用が発生してまいります。上小阿仁村負担分が確定次第、補正予算で対応してまいります。

続きまして産業課関係であります。

1. 稲作状況について

本年の稲作は、農林水産省大臣官房統計部の公表による作況指数は、秋田県平均が103のやや良で、県北でも同じ103となっております。

全国の10アール当たり予想収量は平年並みの531キログラムとなり、前年産から5キログラムの減少が見込まれ、主食用の予想収穫量は744万4千トンとなり、前年産と比べると43万8千トンの減収が見込まれております。

村での作付面積は318.6ヘクタールで、主食用が260.4ヘクタール、加工用米が35.9ヘクタール、新規需要米（飼料用）が22.3ヘクタールとなっておりますので、本年度の生産数量目標の274.9ヘクタールから主食用を差し引きますと14.5ヘクタールの減産となっております。

なお、11月24日現在のJAあきた北央への村の米出荷契約数量は、1俵60kg換算で15,178.5俵に対して、買入数量は13,821.9俵の91.1%となっております。

2. 太平物産株式会社の生産した肥料への対応について

平成27年11月5日、全国農業共同組合連合会は、太平物産株式会社秋田市から購入している肥料について、原料や配合割合が肥料袋の表示と異なるものが多数あるとして、出荷の停止、回収等の措置をとったことを公表いたしました。

た。

農林水産省の立入検査結果が11月20日に公表され、重金属等が公定規格で定められた上限値を十分に下回っていたことから、当該肥料を施用したほ場で生産された農作物の安全性に問題が無い旨の報告がなされておりますが、成分表示に基づき肥培管理されていた農家の皆様には多大なショックを与えており、県、JAあきた北央と連携し営農指導を進めてまいります。

また、有機栽培では、有機JAS規格上使用できない化学肥料を含んだ肥料があったため、有機JAS規格マークの除去と施用後1年以内の農作物の格付けが不可とされ、有機ほ場の取り消しによる農産物のダメージは大きく、秋田県全体での風評被害が懸念されるところでもあり、今後の推移を見守り、対策等を検討してまいります。

3. TPP対策について

TPP大筋合意を受け、平成27年11月25日に対策が示され、重要品目を中心に、意欲ある農林漁業者が安心して経営に取り組めるようにすることにより確実に再生産が可能となるよう、交渉で獲得した措置と合わせて、経営安定、安定供給へ備えた措置の充実等を図るとされております。

今後、抽象的表現から具体的な取組方策が示されますので、将来の不安を払拭する施策に取り組んでまいります。

4. 農地中間管理事業について

農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を進める担い手への農地利用の集積、集約化を進めるため、農地中間管理機構による利用権設定を募集しており、本年度は約10ヘクタールの設定見込みとなっております。

高齢化により機構へ農地を貸し出す方が増えておりますので、認定農業者への集積化及び作業効率化の推進を図ってまいります。

5. 第38回上小阿仁村産業祭について

10月17日、18日の両日、健康増進トレーニングセンターを会場に産業祭を開催いたしました。

農産物やアイデア加工品など241点の出品があり、昨年度と比較すると40点の増加となりました。年々高齢化等により出品物が減少していましたが、農産物、料理や民芸品等が多数出品されており、どれも見事な出来栄で、出品された方々の日頃のご努力に敬意を表するとともに、開催にご協力をいただいた関係者の皆様に感謝を申し上げます。

6. 大館・北秋ご当地グルメ秋まつりについて

10月3日(土)～4日(日)に、道の駅を会場に第5回大館・北秋ご当地グルメ秋まつり IN KAMIKOANI「ふるさと北秋田～採発見～」が開催されました。

秋田県北秋田地域振興局、村、村商工会、あきた北央農協、村観光協会、か

みこあに観光物産（株）で組織する実行委員会が主催となり、大館、北秋田地域が取り組んでいる新たな食を始め、古くから親しまれてきている伝統食を一堂に会したイベントの開催により、地域の食の魅力を広く情報発信するとともに、観光誘客の拡大に寄与することを目的としております。

大館北秋田地域の事業者 17 業者、県内のゲスト事業者 4 業者が出店し、天候には恵まれませんでした。3 日（土）は 2,500 人、4 日（日）は 5,500 人、合わせて 8,600 人の人出で賑わいました。

目標売上金額 400 万円に対して 387 万円の売り上げでしたが、天候不順や県内での各種イベント及び十和田市の B 1 グランプリがあったことを考慮すると概ね目標を達成できたと思っております。

実行委員会形式による開催は、本年度で終了する予定となっているため、次年度以降の新たな取り組みについては、上小阿仁村食農観丸ごと推進協議会で検討してまいります。

7. 造林造材事業の発注状況について

平成 27 年 9 月定例会以降の発注状況は、次のとおりであります。表のとおりですので、後ほどご覧をいただきたいというふうに思います。

続きまして建設課関係であります。

1. 簡易水道事業について

小沢田地区統合簡易水道建設工事は、11 月 20 日現在 12%の進捗率となっており、杉花地区向けの管理棟を建設しております。

2. 住宅リフォーム緊急支援事業について

村の住宅リフォーム緊急支援事業については、次のとおりとなっております。この表につきましても、後ほどご覧いただきたいというふうに思います。

3. 工事等の発注状況について

平成 27 年 9 月定例会以降の発注状況は、次のとおりとなっております。これにつきましても、後ほどご覧いただきたいというふうに思います。

続きまして教育委員会関係であります。

1. 総務学校班関係について

(1) 9 月 12 日～13 日に行われた大館北秋田中学校新人総合体育大会で、野球部は合川中学校と、女子バスケットボール部は森吉中の選手の協力を得て大館東中学校と対戦しましたが、いずれも初戦突破はなりません。新チームとしてよく健闘したと思いますし、来年度に向けて今後の頑張りに期待したいと思います。陸上競技部では、上平晃也君が共通 800 メートルで 1 位になるなど好成績を収めることができました。上平君は全県大会の 2 年 1500 メートルでも 1 位に輝きました。

(2) 10 月 10 日に上小阿仁小中学校の学校祭が開催されました。郷土芸能の発

表は、小学校4年生から中学校3年生までが全員参加しました。指導者や先生達と一体となって取り組む姿はすばらしいものでした。

小学校各学年による劇などの学芸発表は、それぞれに工夫されて楽しいものでした。中学生は1、2年生によるダンス、3年生による劇、吹奏楽部演奏、英語暗唱弁論など成長した姿を見せてくれました。

展示作品からは、子ども達の学習活動での頑張りが伺われ、確実に力がついていると感じさせる作品に触れることができました。

(3) 10月18日の学習発表会では、小学校合唱「七色シンフォニー」、小中学校全校合唱「にじいろ」、中学校合唱「スタンド アロン」を披露しました。元氣いっぱい一生懸命歌う姿からは爽やかさが感じられ、大きな拍手をいただきました。

(4) 第10回全国学校給食甲子園において、上小阿仁村学校給食調理場が秋田県代表に選ばれました。村の野菜やホオズキを活かした献立で好評を得ました。さらには北海道東北ブロック代表として、12月に東京で行われる決勝への出場権も得ることができました。

決勝大会は、12月6日に全国6ブロックから選出された12施設により、東京都豊島区の女子栄養大学駒込キャンパスで行われました。結果は、準優勝というすばらしい成績を挙げました。併せて、牛乳・乳製品部門賞も受賞いたしました。

関係機関、地域の皆様から多大なご協力ご支援をいただき、上小阿仁村の食材の良さを知ってもらうことができ、さらには、上小阿仁村と秋田県の良さをアピールすることができました。

給食らしく誰でも食べやすく、美味しい献立で今回の受賞となったものと思います。

ご協力をいただいた皆様に深く感謝申し上げますとともに、今回の受賞を契機に、今後とも児童生徒の食育、健康のために給食事業に努めてまいります。

(5) 10月29日、平成28年度の上小阿仁小学校入学予定者8名(男3名、女5名)に対する就学時健康診断を実施いたしました。就学予定児童には、聴力検査、視力検査、言葉の検査、知能検査が行われ、その間、保護者には教育委員会と学校から入学までの準備や心構えについて説明をいたしました。

2. 生涯学習班関係について

(1) 9月13日、横手市を会場に、秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたランが実施され、村の部で2連覇を果たしました。総合では21位でした。小雨の中、選手達は懸命に走りました。チームの活躍は村民に大いに元氣を与えてくれました。選手の頑張りと関係者のご支援に感謝申し上げます。

(2) 10月4日に行われた第51回五城目・上小阿仁間駅伝競走大会には、14

チームが参加されました。小雨交じりの肌寒い天気でしたが、沿道には村民の方々が大勢出て、選手に大きな声援を送ってくれました。上小阿仁村からは、体育協会チームと役場チームが参加しました。体協チームは準優勝という、村としては過去最高の成績でありました。役場チームも最後まで粘りを見せました。両チームの健闘に温かい拍手が送られ、大会が大いに盛り上がりました。

(3) 10月13日～18日まで生涯学習週間が開催されました。今年も学習作品の展示や親子映画鑑賞会、図書館企画、お茶の教室などが行われ、多くの人達で賑わいました。学習発表会には保育園、小中学校、サークル等11団体が出演し、多くの村民に楽しんでいただきました。作文コンクールには、小学生18名、中学生10名の応募があり、特選に小学生6名、中学生3名を選び、合わせて9名を表彰しました。上小阿仁村スポーツ賞では、栄光賞に個人3名と団体1チーム、奨励賞に個人3名を表彰いたしました。

(4) 10月18日、公民館自主事業として、小沢田出身の田中まさよし氏と仲間達による無声映画を上演しました。なめらかな口調の弁士と太鼓、三味線の息が合ってすばらしい公演でありました。

(5) 11月20日に行われた第30回上小阿仁村綱引き大会には、小、中学生の部に3チーム、一般男女混合の部に5チームが参加しました。力のこもった熱戦が繰り広げられ、盛り上がりのある楽しい大会となりました。参加選手の皆様がチーム作りに奔走していただいた方々、大会関係者に心から感謝申し上げます。

続きまして、国保診療所関係であります。

4月から10月までの診療状況は、内科外来が診療日数133日、患者数3,338人、1日平均患者数は25.1人。歯科は診療日数139日、患者数1,605人、1日平均患者数は11.5人。毎週月曜日診察の泌尿器科につきましては、診療日数25日、患者数479人、1日平均患者数は19.2人となっております。

今後とも、地域住民の健康を守る医療機関として、より一層の経営努力を進めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

続きまして、杉風荘関係であります。

インフルエンザ・ノロウイルスの流行期に備え、予防対策として、面会時のマスク着用、手、指消毒等お願いしております。また、利用者、職員にワクチン接種など感染予防の徹底を図っております。

去る10月22日、本村出身の舞踏家歌川寿法氏御一行による連続で29回目の慰問公演をしていただき、ご利用者の皆様には楽しい一時を過ごさせていただきました。ご一行に感謝を申し上げます。

11月26日に日中火災を想定した通報避難消火訓練を実施いたしました。地元の沖田面自主防災会の方々にもご協力をいただき有事に備えております。

11月30日現在の入所状況は、契約入所者82名（定員86名）、短期入所者4名（定員6名）、うち本村の出身者は55名となっております。

なお、追加で工事の発注状況について掲載をさせていただいております。平成27年12月14日の入札状況は、次のとおりとなっております。後ほどご覧をいただきたいというふうに思います。

以上であります。

（「はい、議長、1番、」と呼ぶ声あり）

○議長（小林信） 1番。発言の趣旨は何でしょうか。

○1番（伊藤秀明） ただ今、村長の行政報告……。

○議長（小林信） 緊急質問をしたい旨かどうかの確認でございます。

○1番（伊藤秀明） 緊急質問、1日も待てない案件だと思いますので緊急質問をいたします。

○議長（小林信） 1番議員に申し上げます。緊急質問をしたいのであれば、緊急質問の同意を求めますの発言をお願いいたします。1番。

○1番（伊藤秀明） 緊急質問の発言の同意を求めます。

○議長（小林信） 行政報告に対しての緊急質問の同意でございますか。1番。

○1番（伊藤秀明） そのとおりであります。

追加日程第1 緊急質問

○議長（小林信） 行政報告について、1番、伊藤秀明君から緊急質問の申し出があります。伊藤秀明君の行政報告の緊急質問件を議題として採決いたします。

この採決は、起立によって行います。伊藤秀明君の緊急質問に同意の上、日程に追加し、追加日程として発言を許すことに賛成の方は起立願います。

（起立多数）

○議長（小林信） 起立多数でございます。1番 伊藤秀明君の発言を許します。1番、伊藤秀明君。

○1番（伊藤秀明） ありがとうございます。

ただ今の村長の行政報告の中で、一番最後のページ、杉風荘関係のことです。現在、入所者86名に対して82名と報告がございました。皆さんもご承知のことと思いますが、今年の8月ですか、福祉施設の介護報酬が改正になっております。それで、改正の内容は詳しくは説明できませんが、要するに杉風荘は多床室ですので、多床室の関係は上がったのですが、居住費負担の部分が逆に引かれますので、差し引きでは、やはり相対的には5%くらい下がるのではないかと考えています。

そこで質問したいのは、その各福祉施設では、今、この問題を職員あるいは社員の給料から引くというようなことまで申しております。そこで、先ほど、村長が4名の定員が空いていると、これはやっぱり今までなかったような、ただごとではないような気がします。チョット危機感がないような気がしますので、緊急質問とさせていただきます。

この4名、もし仮に4名が入っていたとすれば、平均で介護4以上の方が入所されていると思いますので、1人8,400円くらいとすると、1ヶ月100万円、年間では1,200万円も違ってきます。そうした中で、やはり、これは緊急にPR、電子機器などもありますし、広告もできますし、やっぱり1日でも早い満床を求めたいと思います。

それと合わせて、チョット異常だなと思ったのは指定基準の関係、看護師と看護職員の問題でございます。130人定員まで3人看護師がいればいいわけですが、うちの方の杉風荘、正職員の看護師何人いますか。5人ですよ。さらに臨時の看護師もきておられますよね。そういった意味で、この人件費を上げているというのは、もう70から75もあげていますので、やはり、そういうところは、村長、忙しくて杉風荘の方にも目が届いていなかまわかりませんが、大至急改善してもらいたいと。そして……

○議長（小林信） 伊藤議員に申し上げます。行政報告に出ている案件についての質問、よろしく願いいたします。

○1番（伊藤秀明） はい、そうすれば手短かに申し上げますけれども、これは4人については、このままでよいのかどうか。それから、看護師も行政職だと思えますので、行政職員を採用予定すると言っていますので、来年は、看護師も採用するのか、そこを確認の意味でお話してもらえればありがたいと思います。

○議長（小林信） はい、村長。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） 今、1番からのご質問でありました杉風荘の入所者の欠員についてであります。

これにつきましては、お医者さんがおられますので、先生とも相談しながら早急に対応するというふうなことで検討させていただきたいというふうに思います。

それから、看護師の関係につきましても、やはり、同様に先生との関係がございまして、先生とも相談しながらやるわけですが、当面、議会等に相談をしているとおり杉風荘の民営化等について、再度、議会の方にご協議をしたいというふうなことで考えておりますので、あわせて協議をさせていただいて、それからの対応をさせていただきたいというふうに思いますので、よろしく願いをしたいというふうに思います。

○議長（小林信） 伊藤秀明君。

○1番（伊藤秀明） 今、村長が言ったとおり、私は、1日経てば4万円ずつ消えていくわけですので、大至急、1日でも早い解消をお願いしたい。

それから、やっぱり職員体制は見直していく必要がありますので、これから先生だけに頼らず、やっぱり議会と相談しながら、杉風荘の堅実な経営にあたってもらいたいと思います。

以上です。

○議長（小林信） よろしいですか。

（「はい」と呼ぶ声あり）